

第1章 研究の目的と方法

第1章 研究の目的と方法

第1節 基礎研究の基本フレーム

本研究の目的は、職業能力開発促進法に定められている「職業訓練基準」の各分野別基準が、厚生労働省において今後順次見直しが行われる予定であることから、その一助となりうるよう、有益な検討素材を提供することにある。

本研究は、昨年度（平成18年度）に厚生労働省からテーマを受け、能力開発研究センターにおいて継続的に実施することとなったものである。以下に、研究フレームの概要を記す。

1-1 研究の目的

- (1) 「職業訓練基準」は、職業能力開発促進法第19条に、「公共職業能力開発施設は、職業訓練の水準の維持向上のための基準として、当該職業訓練の訓練課程ごとに教科、訓練時間、設備その他の厚生労働省令で定める事項に関し厚生労働省令で定める基準に従い、普通職業訓練又は高度職業訓練を行うものとする。」と定められ、職業訓練の水準を維持向上させ、労働者の職業生活の全期間にわたって段階的かつ体系的な職業訓練が実施できることを目的としている。

このため、この基準は職業訓練を効果的かつ速やかに実施するための重要な施策の一環として運用されてきた。

しかしながら、近年、社会や産業構造の変化、技術技能の著しい進展等により、労働者の就労環境は多様化し、職業訓練を実施する環境が大きく変化しつつある。

今後とも産業や地域、個人ニーズ等に対応した訓練を的確に実施していくためには、産業や人材育成ニーズの動向、訓練実施後の評価等に基づいた、効果的な訓練科や教科目の設定及び見直し等を不断に行っていく必要がある。

- (2) 現行の職業訓練基準は、平成5年に大きく見直されて以来10数年が経過し、今後厚生労働省にて概ね5年程度をかけ各分野別に順次見直しが予定されている。

そこで本研究では、その一助となりうるよう、今日の技術技能や能力開発ニーズの動向、訓練運営の実態等に関する調査研究を通して、職業訓練基準の適正な見直しや弾力的訓練の設定等に寄与しうる基礎的研究を行う。

1-2 研究の内容

- (1) 公共及び認定職業訓練において実施されている各訓練系や専攻科を、現代の産業・技術の動向、具体的な能力開発ニーズ等に的確に対応した内容とするため、今日的視

点から職業訓練基準や細目のあり方を研究する。

- (2) 職業能力開発促進法に定められた「普通職業訓練」「高度職業訓練」の全般を対象とするが、特に前者は広範な社会的影響力を持つと考えられることから、本研究では、普通職業訓練の「職業能力開発促進法施行規則（昭和44年労働省令第24号）別表第2（普通課程）」（以下、「別表第2」という。）の見直しを中心に行う。
- (3) 具体的には、訓練系・専攻科ごとに現行基準の点検見直しを行い、指標を示す。
 - ①別表に示された訓練基準の概要を見直す。（訓練系・専攻科の分類、名称、技能・知識の範囲、教科、訓練期間（時間）、設備の種別・名称）
 - ②上記に係る重要な細部基準を見直す。（教科の細目、設備の細目）
 - ③上記以外の細部基準については、可能な範囲で検討する。（教科編成指導要領、技能照査の基準の細目、指導員免許の試験科目）
- (4) その他、当該分野の職業訓練の発展に寄与する観点からの成果を適宜付加する。

1-3 年度別計画

- (1) 対象分野は、毎年1～2分野とし、概ね5年で主要な分野を実施する。
- (2) 当面以下のような取り組みを予定する。

平成17年度	金属・機械分野…厚生労働省・専門調査員会にて一昨年度検討済み)
平成18年度	電気・電子分野（1年目、昨年度）
平成19年度	建築・土木、非金属加工分野（2年目、今年度）
平成20年度	情報・通信、サービス、食品分野
平成21年度	農林、繊維・繊維製品、デザイン、化学、医療分野
平成22年度	機械・金属、運搬機械運転分野

1-4 成果の活用

- (1) 厚生労働省における活用

当該分野の研究を終えた翌年度には、厚生労働省職業能力開発専門調査員会（以下「専門調査員会」という。）で省令改正に向けた検討が行われる予定であり、そのための基礎資料を提供することを念頭に置く。

検討経緯を示すため、成果品、参考資料等のほか、議事録を残していく。
- (2) 各訓練施設等における活用

産業・技術動向、人材ニーズ、訓練内容等に関する参考資料として活用に供する。

第2節 平成19年度の研究概要

上記フレームに従い、2年目である本年度は、「建築・土木、非金属加工分野」を対象として基礎研究を行う。具体的には、学識経験者や職業訓練の関係者等で「基礎研究会」を組織化し、年度末に検討成果を報告書としてまとめる方法を取った。

2-1 平成19年度研究の概要

- (1) 研究会名：「職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究会
—平成19年度 建築・土木、非金属加工分野—」
- (2) 検討分野：建築・土木、非金属加工分野
- (3) 研究期間：1年（2年目／5年計画）
- (4) その他：必要に応じ、訓練施設や企業・団体等へのヒアリング調査を実施

2-2 研究内容

下記の各点について、「別表第2」の見直しを中心に行った。

- (1) 当該分野に係わる産業・技術、人材育成ニーズ等の動向
- (2) 当該分野の職業訓練の動向と課題
- (3) 当該分野の訓練系・訓練科のあり方（分類法等）
- (4) 各訓練科の訓練基準の見直し
- (5) 上記に係る必要な実態調査、その他

2-3 研究会の構成

本格的な見直し検討を進めるために、以下のような委員構成で行った。委員は、民間、公共、識者等によるバランスある構成を配慮した。

本年度は設置分野が非常に広いため、各委員の専門性により見直し分野を分担する方法を取った。（カッコ内は担当分野）

- | | | | |
|--------|------------|---------------|----|
| (1) 委員 | ・民間 3名 | ・専門工事業（土木） | 1名 |
| | | ・認定訓練施設（木造） | 1名 |
| | | ・認定訓練施設（建設全般） | 1名 |
| | ・公共訓練関係 2名 | ・東京都（各分野） | 1名 |
| | | ・神奈川県（設計） | 1名 |
| | ・学識経験者 5名 | ・大学（建築・仕上げ） | 1名 |
| | | ・機構立施設（木造） | 1名 |
| | | ・機構立施設（木工） | 1名 |
| | | ・総合大（設備） | 1名 |

	・総合大（内外装）	1名
・主催側 1名	・研究センター（設計・全般）	1名
（2）事務局	・研究センター	2名
		計13名

2-4 研究成果

以下の内容を含む形で報告書をまとめた。

（1）「別表第2」の見直しに係る検討成果。

- ・当該分野は、訓練系・訓練科の種類が非常に多いことから、全国的に設置が多い訓練科を中心に見直した。
- ・各訓練系・訓練科ごとに、「別表第2」の内容を見直した。（訓練系・専攻科の分類、名称、教科、技能及び知識の範囲、教科の細目、訓練期間（時間）、設備の種類・名称等）
- ・必要に応じて、新訓練科の設置に係る検討を行った。

（2）詳細基準の「教科の細目」、「設備の細目」に係る検討成果。

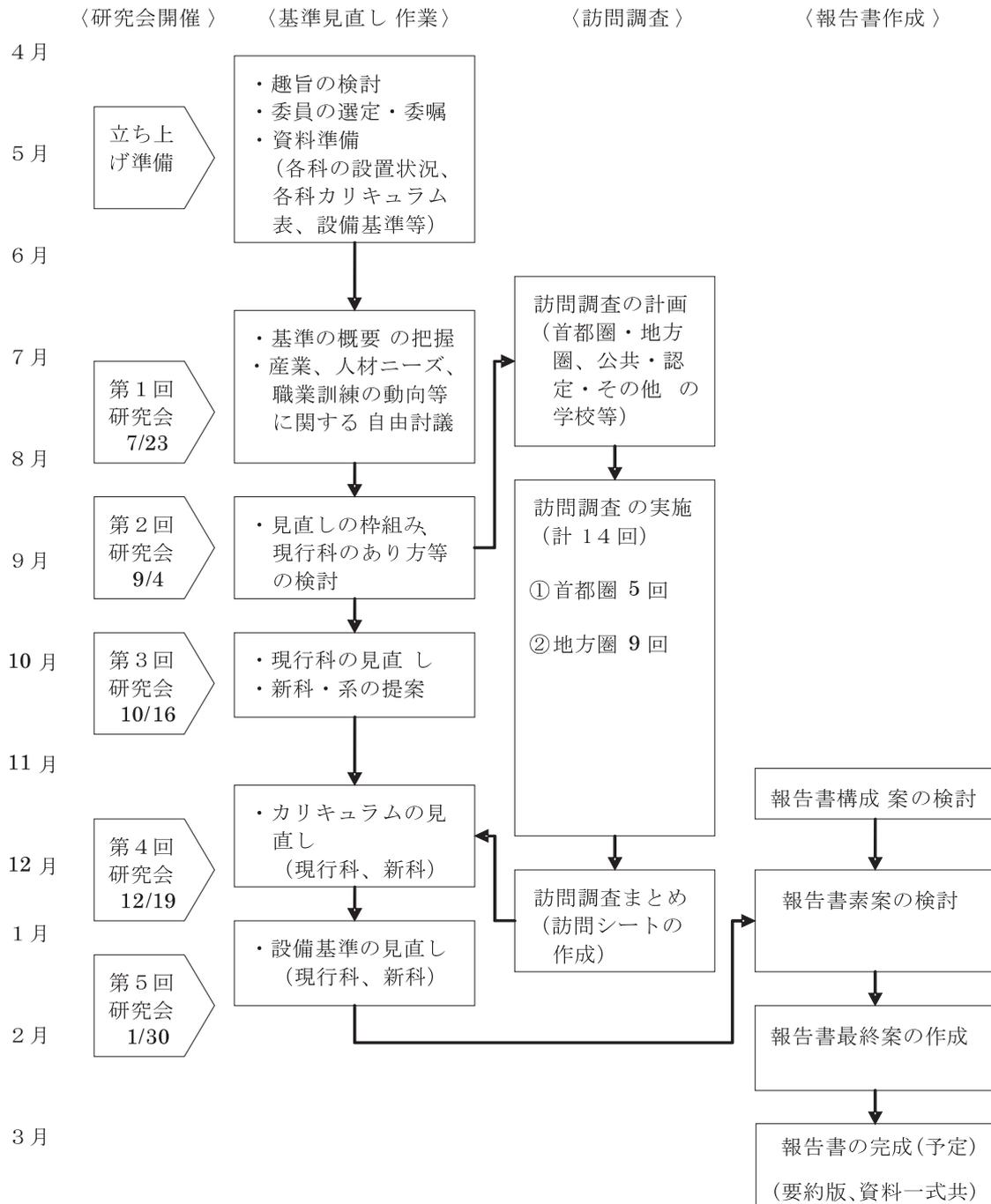
- ・「教科の細目」は、上記別表に連動することから、細部にわたって見直した。
- ・「設備の細目」は、実情に即して必要最低限なものを見直した。
- ・新訓練科については、検討の概要と参考意見を例示した。
- ・その他の細部基準（「教科編成指導要領」、「技能照査の基準の細目」、「指導員免許の試験科目」）の見直しは、時間的制約から見送った。

（3）その他、上記検討に係わる参考資料をまとめた。

第3節 研究の経緯

3-1 研究会作業のフローチャート

上記内容について、1年間にわたり基礎研究を行った。以下に、研究会の作業経緯をフローチャートの形で示す。(図1-1)



(図1-1) 研究会作業のフローチャート図

3-2 研究会の開催

研究会は、1～2ヶ月毎のペースで計5回開催した。(表1-1)

進め方として、産業や人材ニーズ、訓練情勢を取り巻く課題等の大きな流れから徐々に具体的見直しに入って行く方法を心がけた。

研究会開催にあたり、各種の基礎資料等を事前準備し、現状と課題の共通理解、見直し方向の検討、基準の見直し作業を行った。

今年度の対象分野は、特に訓練系と専攻科の種類が多数で実際の設置も多いことから、全国的に設置が多い訓練科を中心に、委員分担により具体的な見直し作業を行った。

業界の人材育成に当たられている民間委員や、日頃各分野の訓練に当たられている各委員の有益な意見交換等を行いながら、議論を深めて行った。

各訓練科の実態や意見聴取を行うため、夏から冬にかけて、多数のヒアリング調査を実施した。

(表1-1) 研究会の開催経緯

<p>第1回 研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成19年7月23日(月) 13:30～17:00 ・場所：建築会館会議室(東京都港区) ・議題：(1) 研究会趣旨の説明 <li style="padding-left: 20px;">(2) 昨年度取り組みの説明 <li style="padding-left: 20px;">(3) 職業能力開発促進法と現行の訓練基準の説明 <li style="padding-left: 20px;">(4) 本年度の見直し分野、及び訓練科の設置状況の説明 <li style="padding-left: 20px;">(5) 本年度分野の各訓練科のカリキュラム表の説明 <li style="padding-left: 20px;">(6) 職業参考資料の説明 <ul style="list-style-type: none"> ①第8次職業能力開発基本計画抜粋(厚生労働省) ②H18研究センター報告書(建設分野) ③H17厚生労働省調査(全国県立施設の運営状況調査) <li style="padding-left: 20px;">(7) フリーディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ①業界動向、人材ニーズ、職業訓練の現状と課題 ②見直しの枠組みとまとめ方について ③今後の作業分担について <li style="padding-left: 20px;">(8) 訪問調査について
<p>第2回 研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成19年9月4日(火) 13:00～16:30 ・場所：創業サポートセンター(東京都港区) ・議題：(1) 訪問結果について <ul style="list-style-type: none"> 1) 施設の概要と実施経緯 2) 各訓練科への訪問調査結果 <li style="padding-left: 20px;">(2) 今年度分野の見直しの方向について <ul style="list-style-type: none"> 1) 委員提案メモの集約 <ul style="list-style-type: none"> 「1. 建築・土木分野の人材育成と職業訓練のあり方」 「2. 建築・土木分野の具体的見直し」 2) 論点の整理と方向性に関する討議 <li style="padding-left: 20px;">(3) 今年度分野の各訓練科の見直しについて <ul style="list-style-type: none"> 1) 現行科目と各県変更科目の対比表 2) 各訓練科の見直し方針、今後のまとめ方に関する検討 3) 作業分担の確認、各訓練科見直し提案メモの依頼 <li style="padding-left: 20px;">(4) 訪問調査の検討 <ul style="list-style-type: none"> 1) 今後の訪問調査計画案 2) 訪問実施にむけて

第3回 研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成19年10月16日（火）13：30～17：00 ・場所：創業サポートセンター（東京都港区） ・議題：（1）各訓練科見直しの検討状況について <ol style="list-style-type: none"> 1）現行各訓練科の見直し素案の検討 2）新設の訓練系・訓練科の提案の検討 3）今後のまとめ方の検討 （2）ヒアリング調査について <ol style="list-style-type: none"> 1）これまでの訪問調査結果の報告 2）今後の訪問調査の実施計画 3）訪問先と担当、時期等の検討 （3）設備基準の見直しについて <ol style="list-style-type: none"> 1）現行各訓練科の設備基準リスト 2）見直し方法、分担案の検討 （4）報告書の構成と執筆分担について <ol style="list-style-type: none"> 1）報告書目次案、執筆分担、スケジュール等の検討
第4回 研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成19年12月19日（水）13:30～17:00 ・場所：創業サポートセンター（東京都港区） ・議題：（1）訪問調査報告 <ol style="list-style-type: none"> 1）訪問調査の実施経緯、地域別の訪問調査報告 2）訪問調査のまとめ方の検討 （2）現行訓練科の見直し及び新科の提案に関する総合討議 <ol style="list-style-type: none"> 1）全体・共通の見直し点の検討 2）各訓練科の訓練基準及び設備基準の検討 <ol style="list-style-type: none"> ①土木関連分野、②RC・仕上・土木分野、③設備分野 （3）討議のまとめ <ol style="list-style-type: none"> 1）現行訓練科の見直し方向の確定 2）新科の提案方向の確定 （4）報告書原稿素案の検討
第5回 研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成20年1月30日（水）13:30～17:00 ・場所：創業サポートセンター（東京都港区） ・議題：（1）訪問調査報告 <ol style="list-style-type: none"> 1）首都圏の調査報告 2）地方圏の調査報告 3）訪問調査先一覧表 （2）現行訓練科の見直し及び新科の提案に関する最終討議 <ol style="list-style-type: none"> 1）現行訓練科の見直し及び新科の提案方向の確定 2）設備基準の見直し方向の確定 （3）報告書原稿最終案の検討 （4）その他の原稿の検討

3-3 ヒアリング調査の実施

今年度は特に訓練系と訓練科の種類が多く、実際の設置数も多いことから、委員が分担する訓練系と訓練科をあらかじめ設定し、各系の事情に応じてヒアリング調査を多数実施した。

後述するように本年度は、多数の県立校の他、580を超える認定校が存在し、各訓練科ごとに設置傾向が異なること、首都圏と地方圏では設置事情が異なること等を勘案しながら、訪問先を慎重に選定して行った。

各回の調査には調整を図り担当分野の委員が中心に参加して、首都圏5回、地方圏9回、総計14回のヒアリング調査を行った。(回によっては日程を分けたので、さらに細区分される)(表1-2)

限られた時間でのヒアリング調査であったが、ここから、訓練現場の運営に関する貴重な見聞や課題の把握、基準見直しに対する要望・意見の聴取、意見交換等、有益な情報が得られた。

施設訪問にあたっては、多くの施設関係者にご協力をいただき、厚く感謝申し上げたい。

(表1-2) ヒアリング調査の実施概要

第1回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年8月27日(月) ・訪問先：①東京都城南職業能力開発センター (旧・都立品川技術専門校)(東京都品川区) <ul style="list-style-type: none"> ・設備保全科(短期、6ヶ月) ・配管科(短期、6ヶ月) ・建築住環境設計科(普通、2年)、 ・訪問者：4名
	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年8月30日(木) ・訪問先：①東京都城南職業能力開発センター(同上) <ul style="list-style-type: none"> ・木工技術科(普通、1年) ・インテリアサービス科(普通、1年) ・訪問者：6名
	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年8月31日(金) ・訪問先：①滋賀県立近江高等技術専門校(滋賀県米原市) <ul style="list-style-type: none"> ・木造建築科(短期、1年) ・訪問者：1名
第2回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年10月22日(月)～24日(水) ・訪問先：①熊本職業訓練短期大学校(認定短大)(熊本県熊本市) <ul style="list-style-type: none"> ・居住システム系・建築科(3年) (建築、左官、型枠、鉄筋の各コース) ②熊本県立球磨工業高等学校(熊本県人吉市) <ul style="list-style-type: none"> ・建築科(建築コース/伝統建築コース、3年) ・伝統建築専攻科(専攻科、2年)(平成16年開設) ③宮城県立産業技術専門校(宮城県西都市) <ul style="list-style-type: none"> ・構造物鉄工科(普通、2年) ・建築設備科(普通、2年) ・木造建築科(普通、2年) ・訪問者：2名
第3回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年10月26日(金) ・訪問先：①東京都豊高等職業訓練校(認定訓練校)(東京都文京区) <ul style="list-style-type: none"> ・豊科(普通、3年) ②ポラス建築技術訓練校(認定訓練校)(埼玉県草加市) <ul style="list-style-type: none"> ・建築科(普通、1年) ・インテリアサービス科(普通、1年) ・訪問者：3名
第4回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年10月31日(水) ・訪問先：①東京都中央・城北職業能力開発センター(東京都北区) <ul style="list-style-type: none"> ・環境空調サービス科(普通、1年) ・測量技術科(普通、1年) ・訪問者：2名

	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年11月2日（金） ・訪問先：②東京都城東職業能力開発センター足立校 （旧・都立足立技術専門校）（東京都足立区） ・建築仕上科（短期、6ヶ月） ・訪問者：1名
第5回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年11月7日（水）～8日（木） ・訪問先：①京都瓦技術専門学院（認定訓練校）（京都市南区） ・瓦科（普通、2年） ②京都府板金高等職業訓練校（認定訓練校）（京都市右京区） ・建築板金科（普通、2年） ③京都府左官技能専修学院（認定訓練校）（京都市下京区） ・左官・タイル施工科（普通、2年） ④京都畳技術専門学院（認定訓練校）（京都市上京区） ・畳科（普通、2年） ⑤京都府硝子技術高等職業訓練校（認定訓練校）（京都市上京区） ・硝子施工科（普通、2年） ・訪問者：5名
	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年11月9日（金）～10日（土） ・訪問先：①職藝学院（私立専門学校）（富山県富山市） ・建築職藝学科（高卒、2年） ②㈱イスルギ附属技能専門校（認定訓練校）（石川県金沢市） ・左官・タイル施工科（普通、2年） ③金沢職人大学校（自治体学校）（石川県金沢市） ・本科9科（石工科、瓦科、左官科、造園科、大工科、畳科、 建具科、板金科、表具科）（3年） ・専攻科（3年） ・訪問者：2名
第6回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年11月27日（火）～28日（水） ・訪問先：①島根県立出雲高等技術校（島根県出雲市） ・土木工学科（普通、2年） ・設備工学科（普通、2年） ・建具製作科（短期、1年） ②島根県立松江高等技術校（島根県松江市） ・左官技工科（普通、2年） ・建築科（普通、1年） ・建築科（技能連携、普通、2年） ・伝承建築科（休科中、短期、6ヶ月） ・訪問者：5名
第7回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年12月4日（火）～5日（水） ・訪問先：①北陸職業能力開発大学校附属 新潟職業能力開発短期大学校 （機構立短大）（新潟県新発田市） ・住居環境科（専門、2年） ②新建ビルド（株）技能研修所（認定訓練校）（新潟県新発田市） ・鉄筋コンクリート施工科（普通、1年） ・土木施工科（普通、1年） ③新潟県立魚沼テクノスクール（新潟県魚沼市） ・建築科（普通、2年） ・左官科（普通、2年） ・訪問者：2名
第8回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成19年12月12日（水）～13日（木） ・訪問先：①長野県上松技術専門校（長野県木曾郡上松町） ・木工科（普通、1年） ・木材工芸科（普通、1年） ②長野県松本技術専門校（長野県松本市） ・建築設備科（普通、2年）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築科（普通、2年） ・ 訪問者：1名
第9回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：平成19年12月12日（水） ・ 訪問先：①大阪府立守口高等職業技術専門学校（大阪府守口市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築大工科（普通、1年） ・ 訪問者：1名
第10回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：平成20年1月21日（水）～22日（木） ・ 訪問先：①京都府陶工高等技術専門学校（京都市東山区） <ul style="list-style-type: none"> ・ 陶磁器成形科（普通、1年） ・ 陶磁器図案科（普通、1年） ・ 陶磁器研究科（普通、1年） ②愛知県立窯業高等技術専門学校（愛知県瀬戸市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 陶磁器製造科（普通、1年） ・ 陶磁器製造デザイン科（普通、1年） ・ 訪問者：2名
第11回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：平成20年1月17日（水） ・ 訪問先：①全国建設労働組合総連合（全建総連）（東京都新宿区） <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造系訓練校における人材育成の課題と要望等 ・ 訪問者：3名
第12回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：平成20年1月28日（月）～29日（火） ・ 訪問先：①岐阜県立国際たくみアカデミー （県立短大＋能力開発校）（岐阜県美濃加茂市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築科（専門課程、2年） ・ 住宅科（建築大工、左官エクステリアの各コース） （普通、1年） ②岐阜県立森林文化アカデミー （県立専門学校）（岐阜県美濃加茂市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 森と木のクリエイター科（木造建築スタジオ） （社会人対象、2年） ・ 森と木のエンジニア科（高卒対象、2年） ③オークビレッジ／森林たくみ塾（私塾）（岐阜県高山市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 制作工房研修コース（2年） ④岐阜県国際たくみアカデミー／木工芸術スクール （県立能力開発校）（岐阜県高山市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 木工・建築科（木工工芸、建築工匠の各コース） （普通、1年） ⑤飛騨国際工芸学園（私立専門学校）（岐阜県高山市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活工芸学科（創作家具・造作家具・工芸家具の各コース） （高卒、2年） ・ 訪問者：3名
第13回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：平成20年1月23日（水） ・ 訪問先：①（社）建設産業専門団体連合会（建専連）（東京都港区） <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門工事業における人材育成の課題と要望等 ②向井建設（株）（東京都千代田区） （認定訓練、富士訓練センター利用） <ul style="list-style-type: none"> ・ とび科（短期、3ヶ月） ・ 鉄筋コンクリート施工科（短期、3ヶ月） ・ 訪問者：3名
第14回調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：平成20年1月31日（木）～2月1日（金） ・ 訪問先：①日本工科専門学校（私立専門学校）（兵庫県姫路市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工学科（高卒、2年） ・ 建築職人マイスター養成プログラム（試行、6ヶ月） ②兵庫県立但馬技術大学校（兵庫県豊岡市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工学科（普通1年＋県独自1年） ・ 訪問者：1名

3-4 見直し内容に関する具体的検討

研究会の開催にあたって、以下のような順序で検討を進めた。

(表1-3) 見直しの検討経緯

